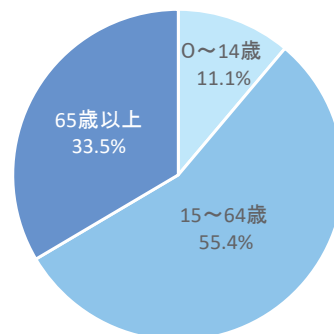


古谷地区福祉プラン

市の東部に位置しています。ほぼ全域にわたり、豊かな自然環境・田園風景が残っていますが、近年は開発が進み宅地化されてきています。高齢化が進み、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯も多くなっています。

■人口	10,397人
■世帯数	4,436世帯
■民生委員・児童委員数	15人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	3人
■ボランティア団体数	12団体
■老人クラブ数	1クラブ
■福祉施設数	17施設

■年齢別割合



活動目標1 人と人とのつながりを深めみんなで支えあえる地域にしよう

- ◆古谷支会や各種団体等が中心となり、大勢の地域住民に参加してもらえよう、魅力ある活動を展開する。
- ◆日頃から隣近所とのコミュニケーションを良好にし、特に高齢者の方や障害のある方にも参加してもらえよう、積極的かつ継続的に呼びかけを行う。
- ◆一人暮らしの高齢者やひとり親世帯等、支援が必要な方には、古谷支会や各種団体等が中心となり、積極的な支援を行う。
- ◆高齢者に対し健康体操・各種セミナーなどの開催を古谷支会や各種団体の協力のもと地域全体へ拡大できるよう努める。
- ◆地域の福祉活動について広報誌・公民館だより・ホームページ・SNSなどにより積極的な情報発信に努める。

活動目標2 古谷地区として地域の特性を生かした魅力ある事業活動を展開しよう

- ◆地域のイベントについて積極的に協力者を募り、充実した事業になるよう取り組んでいく。
- ◆横断的なボランティアネットワークづくりに努め、共に地域の高齢者や子どもたちのための取組を行う。
- ◆時代の変化、特に地域の高齢化に対応した事業やイベントを協力して考えていく。
- ◆地域の高齢者や子どもたちの交流事業について、本地域の伝統的な取組を含め、積極的に取り組んでいく。

活動目標3 誰もがいきいきと楽しく安全に暮らせる地域にしよう

- ◆学校と地域との情報共有を図りながら、見守り活動の強化充実に努め、子どもたちが安心して外で遊べる地域にする。
- ◆交通安全協会古谷支部、交通安全母の会古谷支部等の協力のもと、特に高齢者や子どもの交通事故を防止するよう取り組んでいく。
- ◆台風や集中豪雨・地震等、災害発生時の被害を最小限にできるよう地域の防災避難対策を行う。
- ◆災害発生時や緊急時のために、一人暮らしの高齢者や障害のある人に避難誘導ができる体制づくりを行う。

【人口、世帯数】情報統計課（令和3年1月1日現在）

【民生委員・児童委員数】福祉推進課（令和2年4月1日現在）

【保険推進員数】健康づくり支援課（令和2年3月31日現在）

【ボランティア団体数】市社協に登録しているボランティア団体数

（令和2年3月31日現在）

【老人クラブ数】川越市老人クラブ連合会に登録している老人クラブ数

（令和2年4月1日現在）

【福祉施設数】令和2年度「保健・医療・福祉のしおり」

地図と主な地域資源



⑱ふれあい食堂（子ども食堂）



サマースクール
●古谷公民館



在宅高齢者等給食サービス事業
●古谷公民館

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	二ノ関公民館	⑨	古谷本郷上組農民センター	⑰	東本宿自治会館
②	沼端公民館	⑩	古谷本郷下公民館	⑱	川越グリーンパーク管理センター
③	宿自治会集会所	⑪	小中居公民館	⑲	コスモ川越ワンダーランド(集会室を借用)
④	堀の内公民館	⑫	大中居集会所	⑳	県営小中居住宅集会所
⑤	古川端公民館	⑬	高島集会所	㉑	グリーンフィールド自治会館
⑥	黒須公民館	⑭	八ツ島集会所	●	古谷公民館
⑦	蔵根公民館	⑮	下老袋農民センター	●	教育センター
⑧	古谷本郷上組千手堂公民館	⑯	下老袋自治会集会所植木会館		

地区別福祉プランは「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の一部として、市民、各種団体、事業者等による支え合い・助け合い活動を促進するため、地区社協が中心となって具体的な取り組みを定めました。

発行：古谷地区社会福祉協議会
編集：川越市社会福祉協議会
〒350-0036 川越市小仙波町 2-50-2
電話：049-225-5703